

暖かい冬もいつの間にか過ぎ、はや梅も盛りとなりました。こうした季節の移り変わりにも、謡曲の世界はいつに変わらぬ気分を醸してくれます。

謡は難しいと思っている方、一度ご一緒に試してみませんか？ 謡曲は、日本人ならおそらくどなたでも自然に親しめる音階、たとえばお経や声明で聞いたことのある旋律で出来ているので、何となく慣れてしまうものです。

まずは参加して、雰囲気味わってみてください。先生なしの仲間同士の愛好会で、テープに合わせてのんびり楽しくやっております。終わってから、お茶を飲みながらあれこれお話するのもいいものです。お待ちしております。

一、とき 第二金曜日 午後三時 ～ 五時ごろ

二、参加費 九百円 (お茶とお菓子で茶話会)

または 五百五十円 (茶話会不参加の場合)

三、会場 菊名南町会館 (横浜妙蓮寺郵便局左横)

〈次回のお知らせ〉 (註)二月はお休みとなります。

令和二年三月十三日 午後3時より

観世流

〈註〉開始時刻が変わりました。

謡曲のつと

「嵐山」



前場では、都から勅命によつて嵐山を訪れた勅使に、花守の老人夫婦が、嵐という名を持ちながらも櫻が無事に咲く訳を語り、さらに夜を待つように言つて姿を消す。

後場では子守・勝手の神となつて現れ、実は蔵王権現と一体である事を明かし、花に戯れ、光輝く春の盛りを寿ぐのであった。

主催 ファミリー・セミナー

港北区菊名一丁目一一・四(横浜妙蓮寺郵便局前)

問合・申込 電話 〇四五―四〇一一三三八八